

元気おおとよは、
大豊町を元気にする民間の団体です！

2022 春号

元気おおとよ新聞

令和4年4月1日発行No.37
特定非営利活動法人
元気おおとよ
<http://www.genki-otoyo.org>
お問合わせ080-8635-2253

※シリーズ 集落活動センター vol.5(最終回) は、
夏号(7月1日発行)に掲載します。

そば粉の
クレーム **ままとよがレット** 出店情報！

4月3日(日)「さめうらダム桜まつり」にガレット出店予定！

町内の森林整備活動 Report



昨年度、森林山村多面的機能発揮対策事業補助金(国・県・町)を使い、荒れた森林を整備・活用するという内容の森林整備活動に取り組みました。

以前からおこなっている移住支援事業により、空き家を移住者に紹介し、空き家の片付けを手伝いました。通常はここで終わり、なのですが、長年放置されていた、周辺の山林や畑が荒れ放題。景観のいい場所なのに、高い杉や木々にさえぎられて、日当たりも悪くなっていました。移住者だけでは、無理だろうということで、元気おおとよのメンバーで森林整備を手伝おう、ということになったのです。

とは言っても素人の集まりなので、すでにこの補助金を活用し、自バツ型林業を中心に活動している方やプロの山師の助けを借り、補助金の申請から実施まで、なんとか完了することができました。

<作業風景>



<安全講習>



<施業前 → 施業後>



大豊町内には、荒廃した森林が多数存在します。それらは自然環境はもちろんのこと、いずれは私たちの暮らしにも影響を及ぼします。人間の都合で自然に過度な手を加え・放置し、ゆがんでしまったバランスを、正常な形に戻していくのは、この時代に生きる私たちの役目だと思います。私たちにできることは限られていますが、その気持ちを多くの人が持ち続けられれば、何かを変えていくことができると信じて、今後も活動を続けていきたいです。(野田由美子)

庭づくりワークショップを開催しました！！

杉地区には私たちが管理する、移住者のためのお試し住宅や短期滞在などに使う「龍馬ハウス」があります。(以前住まわれていた方が、ここで龍馬人形を作っていたから)

初めは、かなり荷物が残った古民家だったのですが、ワークショップによるリフォームを少しずつ行って、これまで何人かの方に利用してもらっています。

今回は荒れたままだった庭をきれいにしたいと、「庭造りワークショップ」を開催しました。

講師には大豊町の元地域おこし協力隊の岡田裕介さんをお願いしました。現在は本町で岡田造園としてご活躍中です。

まずは、荒れた庭の掃除と全体の勾配を考えて、鍬などを使って地面を均していきました。

次に、今回は敷石や砂利を使った庭を作るので、砂利の下から草が生えないように防草シートを敷いていきます。

花壇もきれいにしたかったので、併せて丸太をしいた花壇を作っていました。

Start!



Day 1



Day 2



Day 3



防草シートが敷き終わったら敷石の配置を参加者のみんなと考えました。まずは自分たちで考えて、そのあと岡田さんからプロの配置の仕方をアドバイスしてもらって、徐々に庭の形の方向性を決めていく作業はとても面白いものでした。

庭を通して、人の導線をどうするかを考えながら、デザインを作っていきます。みんなで話し合っ、庭入口部分と玄関は敷石を敷き詰めて使い勝手を良くして、途中の空間は飛び石と砂利で中庭風の空間を作るという方向になりました。

敷石はそれぞれに段差が無いようする必要があるので、水系と水準器使って置いていきます。敷石の下は空練りしたモルタルなどを入れるのですが、水平に置いていく作業はかなり繊細でとても難しい作業でした。

そのあとは飛び石も配置も足運びに気を付けながら、かっこいい曲線を出せる配置を決めるまでにさらに苦労(笑)最終日に砂利を敷いて庭の完成です！！

全4日のワークショップでしたが、完成するまでに約3日かかりました。庭づくりは、細かい作業の連続でこだわりのある作業です。

初めはざっと整地して石と砂利を敷くだけだからそんなにわからないだろうと素人考えだったのですが、プロの仕事の仕方を教わっていくと、とても繊細で芸術性の高い仕事なんだということがわかりました。(この部分を書き出すと凄い文量になりそうなので省略(汗))

Day 4



最終日には庭木の剪定を行いました。今回はナンテンと椿、ロウ梅を例に剪定の仕方を教わりながら、実際に参加者で作業を行いました。基本としては、人間が思う理想の庭木を作っていくには、その木を観ながら、1、2年先の成長を考えて小まめな剪定を行ってあげるのが理想だということがわかりました。

これまでは、雨の日にはぬかるんで陰気な庭だったのですが、明るめの庭をめざしたので、雨の日でも楽しい気持ちになれるような庭になりました。

今後もワークショップを中心に、龍馬ハウスを通じて移住者の方に大豊町を知ってもらおう施設にしていきたいと考えています。

※コロナ禍での懸念もあったのですが、野外での活動であり、感染対策を行った上で、人数も最低限の参加者に設定して開催しております。(猪野大助)



Finish!